

令和6年度 第3回学校運営協議会抄録

日時:令和7年2月4日(火)15:10～ 場所:本校 会議室 各教室

出席者:阿部(市内自治会長)、池内(おかやま発達障害者支援センター)、岡村(玉野備南高校長)、河内(市商工観光課)、末吉(永石スポーツ店)、角田(後援会会長)、高橋(保護者代表)、鶴田(社会福祉法人四ツ葉会)、藤原(市適応指導教室)、事務局:教頭、事務長、教務課長

1. 開会 校長挨拶

今年は生徒が様々な場面で活躍してくれた。生徒全員が学校行事へ積極的に取り組んでくれたり、部活動では全国大会出場や県大会で優勝、準優勝という成績をおさめてくれたりした。

学習面でも、落ち着いた授業の雰囲気を保っており、国語、英語

の成果を文化祭や玄関へ掲示したりしている。今後は、「自立した社会人を送り出す」ために、地域と連携した取組に力を入れていきたい。学校運営協議会の委員の皆様積極的に学校に関わって欲しい。実現可能な内容について、忌憚のない意見をいただきたい。



2. 授業参観

学校運営協議会の委員の方々に3限目の授業を参観し、学校の様子をご覧いただいた。

1年A組	1年B組	2年	
公共	現代の国語	ビジネス基礎	キャリア基礎

3. 学校説明

本校の取組と学校評価アンケートの説明

- 学校運営協議会でも協議を重ねた4修制をベースとした教育課程が令和7年度からスタートする。
- 学校設定科目「まなび+」の見直し、改善や、英語のディベートを授業公開し、授業改善に努めた。
- 年間をとおして総合的な探究の時間「SHOP」へ生徒全員で取り組んだ。
- 通級指導では、一人一人の目的に合わせたオーダーメイドによる授業を行っている。
- 勤務時間の変更により、働き方改革に繋がった。
- 生徒会や部活動、ボランティア等様々な場面で生徒が活躍してくれた。

4. 協議

(1)学校評価

・委員からスケジュール帳の活用についての質問があり、時間割やメモ、保護者との連絡等に活用しているが、クラスによって活用方法や頻度が異なることで、全体として活用し切れていないことが課題となったことを説明した。

・遅刻、欠席等の状況について質問があり、全体的には多くはないが、一定数の生徒が遅刻、欠席が見られ、教員が丁寧に本人、保護者と話しをして、改善している生徒もいることを説明した。

・教育課程の変化に伴い、新年度の入学生にも話しは及び、入試制度の変更も伴っているので、入学希望者については、蓋を開けてみないとわからないと回答した。

※出席した委員の評決により、「総合評価」は次のような結果となった。

学校経営目標（抜粋）	総合評価
(1)学ぼうとする態度や自立に向けた基礎学力の育成	B
(2)マナーやルールを守り、他人を思いやる心の涵養	B
(3)より良く生きる態度の育成とキャリア教育の推進	A
(4)実態把握と通級等の特別支援教育や教育相談の推進	A
(5)生徒にとって学びやすく魅力的な学校の具現化	A

(2)本校の実態を踏まえた地域と連携した取組について

・生徒が社会で必要なスキルを身に付けるために、学校運営協議会の委員の方々が中心となって参画していただく地域と連携した取組について協議をしていただいた。

【委員】職業体験を経験させる。自分では工作体験をさせることは可能である。

【委員】玉野市商工会議所青年部主催のハロージョブチャレンジに参加すると伺ったが、外部で体験型の学びに参加することはよいことである。

【委員】生徒のためになることに手助けをしたいが、生徒が何に興味があるのかを知りたい。直接生徒に訊いてみた上で、その関連で働いている方々を招聘して、話を聞いて参考にしてもらうのはどうか。

【委員】単純に人を呼ぶのではなく、来てくださる方にもプラスになるようなウインウインの関係になるよう人材を招聘するのが良いのではないかと。例えば、玉野の人材を求めている企業など。

【委員】玉野市主催のインターンシップで、予定通り行かないことを伺ったが、参加する前に生徒に練習させたり、事前指導をして自信をつけてから参加してはどうか。

【委員】玉野市主催のインターンシップ以外にもインターンシップを実施しているのか。生徒が実施しやすいタイミングで、興味のある企業で実施するのは生徒にとってもストレスが少ないので、上手くいくのではないかと。

【委員】いきなりインターンシップに参加するのではなく、ボランティア活動から始めるのもよいと思う。

5. 閉会 会長挨拶

授業を参観し、生徒一人一人に丁寧に指導している様子が見られた。学校運営協議会では、今後も学校をよくしていくために支援していきたい。

